

# 救命救急医療学分野

## 論文

### A 欧文

#### A-a

- 1 . Valeryia Zmushka, Goro Tajima, Keita Iyama, Koichi Hayakawa, Kazunori Yamashita, Takamitsu Inokuma, Hiroo Izumino, Takanobu Otaguro, Eri Uemura, Tomohiro Ueki, Shimon Murahashi, Shuhei Yamano, Kensuke Takahashi, Yoshihiro Aoki, Atsuko Tachikawa, Osamu Tasaki: Characteristics and outcomes of out-of-hospital cardiac arrest in a hilly area: Utstein Registry data from the Nagasaki Medical Region, Japan.. *Acute medicine & surgery* 11(1): e966, 2024. doi: 10.1002/ams2.966.
- 2 . Watanabe S, Izumino H, Takatani Y, Tsutsumi R, Suzuki T, Tatsumi H, Yamamoto R, Sato T, Miyagi T, Miyajima I, Nakamura K, Higashibeppu N, Kotani J.: Effects of Energy Delivery Guided by Indirect Calorimetry in Critically Ill Patients: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Nutrients* 16(10): 2024.
- 3 . Ma M, Aoki Y, Kitazawa K. : Atypical Cat Scratch Disease With Splenic Lesion Mimicking Kawasaki Disease in a Healthy 5-Year-old Girl. *The Pediatric Infectious Disease Journal* 43(1): e16-e19, 2024. doi: 10.1097/INF.0000000000004148.
- 4 . Nishi T, Aoki Y, Takahashi K, Yamano S, Hayakawa K.: Enterococcus hirae Bacteremia Complicated by Septic Spondylitis and Acute Pyelonephritis: A Case Report. *Cureus* 16(12): e75501, 2024. doi: 10.7759/cureus.75501.
- 5 . Aoki Y, Miyagi A, Toyokawa A, Misaka S, Yoshida J, Makram AM, Gad AG, Huy NT: How to improve planetary health: Devising the 'Planetary Health Approach' from the biogeochemical flow perspectives. *Journal of Global Health* 14: 03014, 2024. doi: 10.7189/jogh.14.03014.
- 6 . Paghubasan J, Tiglaio PJ, Aoki Y, Tan MA, Sarsalijo MS, Aquino GJB, Beronilla-Uraga MG, Agosto LC.: Neurotoxic snakebite envenomation treated with Philippine cobra antivenom in the eastern Visayas: a descriptive study between 2016 and 2020. *Toxicology Research* 13(3): tfae088, 2024. doi: 10.1093/toxres/tfae088.
- 7 . Arrieta R, Aoki Y, Tan MA, Sarsalijo MS, Sarmiento MJ, Paghubasan J, Tiglaio PJ, Yoshimura K, Sakai A, Agosto LC.: A fatal snakebite envenomation due to King cobra (*Ophiophagus hannah*) in the Eastern Visayas, Philippines. *Toxicon : official journal of the International Society on Toxinology* 244: 107751, 2024. doi: 10.1016/j.toxicon.2024.107751.
- 8 . Shirahige H, Aoki Y, Takahashi K, Akao K, Hirabaru M, Akashi R, Yoshino K, Tachikawa A, Sugawara D, Tsukamoto Y, Atsumi T, Yamano S, Morino S, Nakano M, Hayakawa K, Tasaki O.: Man with bedsores. *Journal of the American College of Emergency Physicians Open* 5(3): e13215, 2024. doi: 10.1002/emp2.13215.
- 9 . Aoki Y, Arrieta R, Aquino GJB, Smith C, Agosto LC.: Very mild bilateral ptosis following snakebite. *Acute Medicine & Surgery* 11(1): e935, 2024. doi: 10.1002/ams2.935.

#### A-e-1

- 1 . Tajima G, Murahashi S, Uemura E, Miura M, Tasaki O : DISCRIMINATION OF PATHOPHYSIOLOGY IN SYSTEMIC INFLAMMATION BY CANONICAL DISCRIMINANT ANALYSIS BASED ON TRANSCRIPTOME ANALYSIS. 83th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma Program : Poster#11, 2024.
- 2 . Murahashi S, Tajima G, Uemura E, Miura M, Tasaki O : ANALYSIS OF NERVE REGENERATION INHIBITOR RGMA AND MICROGLIA IN THE MURINE CONTROLLED CORTICAL IMPACT MODEL. 83th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma Program : Poster#55, 2024.
- 3 . Aoki Y, Tiglaio PJ, Paghubasan J: Snakebite Envenomation in Eastern Visayas Region Philippines. *Clinical Toxicology* 63(sup1): 42, 2024.

### B 邦文

#### B-a

- 1 . 松坂雄亮, 道辻 徹, 大園恵梨子, 梅田雅孝, 泉野浩生, 松島加代子, 長谷敦子, 浜田久之 : 一般外来研修において研修医が経験する症候・疾患の特徴 救急外来研修との比較から. *日本プライマリ・ケア連合学会誌* 47(3): 81-88, 2024.

#### B-b

- 1 . 泉野浩生 : 【急性期のリハビリテーション栄養】内科 急性呼吸不全(解説). *リハビリテーション栄養* 8(1): 40-44, 2024.

#### B-c

- 1 . 田崎 修 : 今日の治療指針 私はこう治療している2024. 医学書院 : 2024.
- 2 . 田崎 修, 田島吾郎, 平尾朋仁, 竹田昭子 : 臓器提供マニュアル : 最新の動向. *ICUとCCU* 48(6): 303-310, 2024.

3. 山下和範：災害時の医療支援活動における多職種連携の現状と課題. 救急医学 Vol.48 (2024年) (Suppl.): 1472-1476, 2024.

#### B-d

1. 安武結衣,山野修平,松本聡治朗,田島吾郎,平尾朋仁,山下和範,田崎 修：温泉溺水による高Ca血症に対して持続的血液濾過透析を施行した症例. 長崎医学会雑誌 99(3): 265-269, 2024.
2. 梅田雅孝,松島加代子,大塚絵美子,大園恵梨子,清水俊匡,福本将之,牟田久美子,泉野浩生,塩田純也,渡邊 毅,大坪竜太,高山隼人,高島英昭,今村圭文,金子賢一,長谷敦子,浜田久之：2023年度医科臨床研修マッチング振り返り~念願のV字回復達成~. 長崎県医師会報 (938): 2024.

#### B-e-1

1. 小畑智裕,上村恵理,太田黒崇伸,宮崎拓郎,土肥良一郎,谷口大輔,佐々木俊輔,田崎 修,松本桂太郎：当施設における胸部外傷手術症例の現状と血胸への治療戦略の再検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 38(3): O42, 2024.
2. 中島誉也,佐藤俊太郎,関野元裕,田中健之,園生智弘,後藤匡啓,柴田潤一郎,大沢樹輝,泉川公一,田崎 修,原哲 也：集中治療を要した菌血症患者における菌種と転帰の関連 過去起点コホート研究. 日本集中治療医学会雑誌 31(Suppl.1): S753, 2024.
3. 吉村有矢,伊澤祥光,井上潤一,小倉崇以,黒住健人,高松純平,田崎 修,中尾彰太,廣瀬智也,益子一樹,渡部広明,日本外傷学会資格試験作成委員会：今後の外傷(外科)医の育成と学会の役割 外傷専門医の確立と向上を目指して 日本外傷学会資格試験作成委員会の活動. 日本外傷学会雑誌 38(2): 179, 2024.
4. 土居 満,田口憲士,山下和範,田島吾郎,猪熊孝実,泉野浩生,太田黒崇伸,上村恵理,村橋志門,田崎 修：骨性胸壁外傷に対する各施設の治療指針 当院における胸壁外傷固定の実際. 日本外傷学会雑誌 38(2): 187, 2024.
5. 望月保志,曾山明彦,宮崎拓郎,村橋志門,関野元裕,竹田昭子,松本桂太郎,江口 晋,原哲 也,田崎 修,今村亮一：移植医療における働き方改革-具体的対応も含めて- 臓器提供ドナー主治医サポートシステムの構築 院内臓器提供支援チームの活動と働き方改革. 移植 59(総会臨時): 156, 2024.
6. 山下和範：特定したイベントを前提とした特殊災害対応計画立案と訓練. 蘇生 43(Suppl.): 173, 2024.
7. 山下和範,増田真吾,南島友和,田中総子,中田敬司,前林清和,田中綾子,山口順子：医療コンテナの活用と課題 医療コンテナを用いた離島での検診実証報告. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 201, 2024.
8. 山下和範,宮田佳之,安藝敬生,木谷貴嘉,白石千秋,猪熊孝実,柴田久美,田崎 修：叡智の結集:国内災害対応チーム実移動を伴う原子力災害医療派遣チーム研修の企画運営と課題. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 199, 2024.
9. 増田尋斗,増留流輝,山下和範,相坂颯汰,糟谷一心,下野舞花,杉田風未香,和氣幸佑,山口愛鈴,鈴木健介,小川理郎：実践的な避難所運営訓練 新上五島町における災害医療ロジスティクス演習. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 408, 2024.
10. 下野舞花,山下和範,鈴木健介,増留流輝,山口愛鈴,和氣幸佑：学生災害医療ロジスティクス演習を履修して思う未来(わたしたち)の災害医療. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 407, 2024.
11. 山下和範,鈴木健介,山口愛鈴,増留流輝,和氣幸佑,宮田佳之,安藝敬生,木谷貴嘉,白石千秋：災害医療ロジスティクスの重要性を学生時代から体験する取り組み 将来の災害医療ロジスティクスチーム要員養成を目指して. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 371, 2024.
12. 安藝敬生,宮田佳之,木谷貴嘉,白石千秋,山下和範：災害対策本部員を対象としたインフラ関連施設理解度向上への取り組み. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 355, 2024.
13. 木谷貴嘉,宮田佳之,安藝敬生,白石千秋,山下和範：G7保健大臣会合におけるDMAT医療体制について. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 328, 2024.
14. 宮田佳之,木谷 貴嘉,安藝敬生,白石千秋,山下和範：自助・共助を進めるために 大学病院が中心となっていく「自助・共助」を促進するための試み. Japanese Journal of Disaster Medicine 28(Suppl.): 184, 2024.
15. 猪熊孝実,村橋志門,上村恵理,上木智博,太田黒崇伸,泉野浩生,田島吾郎,山下和範,田崎 修：受け入れ体制づくりには他部署との情報共有・トレーニングを地道に「継続」することが重要である. 第38回 日本外傷学会総会・学術集会
16. 猪熊孝実,安倍 翔,安武結衣,井上 聡,村橋志門,井山慶大,上木智博,太田黒崇伸,田島吾郎,山下和範,田崎 修,小林慎一郎,原 貴信,井上悠介,江口 晋,谷村政道,小森由紀子,柴田久美：ダメージコントロール戦略を行った敗血症性ショックを伴った小腸閉塞の1例. 第16回 日本Acute Care Surgery学会学術集会
17. 猪熊孝実,安倍 翔,安武結衣,井上 聡,村橋志門,井山慶大,上木智博,太田黒崇伸,泉野浩生,田島吾郎,山下和範,田崎 修：Roux-en Y再建術後の重症胆管炎に対してPTGBDを行った1例. 第61回 日本腹部救急医学会総会
18. 土居 満,田口憲士,山下和範,田島吾郎,猪熊孝実,泉野浩生,太田黒崇伸,上村恵理,村橋志門,田崎 修：骨性胸壁外傷に対する各施設の治療指針 当院における胸壁外傷固定の実際. 日本外傷学会雑誌 38(2): 187, 2024.

19. 原貴 信,井上悠介,今村一步,猪熊孝実,曾山明彦,松島 肇,山下万平,小坂太一郎,久芳さやか,小林和真,足立智彦,金高賢悟,江口 晋: Open Abdominal Managementにおける私の工夫 当科におけるOpen abdomen managementの工夫と成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集 124回: WS, 2024.
20. 太田黒崇伸, 田崎 修, 山下 和範, 猪熊 孝実, 泉野 浩生, 上木 智博, 井山 慶大, 村橋 志門, 安倍 翔, 安武 結衣, 井上 聡: 今こそ改革のとき ～救急科志望者へのアンケート調査を踏まえて～. 日本救急医学会雑誌 35(11): 889, 2024.
21. 巽 博臣, 泉野浩生, 堤 理恵, 高谷悠大, 東別府直紀, 吉田 稔, 清水義之, 山元 良, 中村謙介, 小谷穰治, 日本版重症患者の栄養療法ガイドライン検討委員会: 重症患者の栄養療法ガイドライン改定のポイント 栄養モニタリングと特殊治療. 日本集中治療医学会雑誌 31(Suppl): S375, 2024.
22. 泉野浩生, 山野修平, 村橋志門, 廣佐古裕子, 荒木美紀, 安藝敬生, 松永典子, 高島英昭, 田崎 修: タスクシェアの舞台裏!重症患者の栄養療法における連携術 十年 システマティック栄養療法. 日本集中治療医学会雑誌 31(Suppl): S463, 2024.
23. 橋詰直樹, 松嶋真哉, 泉野浩生, 牛込恵子, 後藤悠大, 牧 宏樹, 光永幸代: (グループ3)栄養教育について. 学会誌 JSPEN 6(Suppl): U45CM-3, 2024.
24. 里 加代子, 松永典子, 稲岡奈津子, 伊藤直子, 松坂章也, 中邨翔太, 久松徳子, 泉野浩生: 医学部・薬学部学生への栄養管理に関する教育とその評価. 学会誌JSPEN 6(Suppl): P-11-10, 2024.
25. 大塚絵美子,大園恵梨子,梅田雅孝,福本将之,牟田久美子,泉野浩生,塩田純也,渡邊 毅,大坪竜太,高山隼人,高島英昭,長谷敦子,松島加代子,浜田久之: 医学教育理論を活用した長崎大学病院での研修医教育の改善の試み. 医学教育 55(Suppl): 235, 2024.
26. 立川温子,菅原大輔,青木義紘,平岡知子,高橋健介,山野修平,早川航一: 当院における超高齢者の大腿骨近位部骨折の治療成績. 日本救急医学会雑誌 35(11): 751, 2024.
27. 榎本 裕,空閑康平,青木義紘,立川温子,菅原大輔,平岡知子,高橋健介,山野修平,早川航一,田崎 修: 迅速診断キットの使用が診断に有用であった血液培養陰性のA群β溶血性連鎖球菌による壊死性筋膜炎の2例. 日本救急医学会雑誌 35(11): 645, 2024.
28. 青木義紘,堺 淳,吉村 憲,山野修平,田崎 修: ヤマカガシによるドライバイトと考えられたヘビ咬傷の9歳男児例. 日本小児科学会雑誌 128(2): 362, 2024.
29. 青木義紘,立川温子,菅原大輔,塚本 裕,高橋健介,山野修平,早川航一,田崎 修: フィリピン東ビサヤ地域において軽度眼瞼下垂を認めた毒ヘビ咬傷の一例. 日本臨床救急医学会雑誌 27(3): 346, 2024.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	0	10	20

## 社会活動

氏名・職	委 員 会 等 名	関 係 機 関 名
田崎 修・教授	長崎県災害医療コーディネーター	長崎県
田崎 修・教授	長崎県医師会循環器病等検討委員会	長崎県医師会
田崎 修・教授	長崎県医師会定款・諸規則検討委員会委員	長崎県医師会
田崎 修・教授	メディカルコントロール協議会検討委員会委員	長崎県
田崎 修・教授	理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	利益相反管理委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	個人情報保護委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	学会主導研究評価特別委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	評議員	JPTEC九州
田崎 修・教授	転院搬送ガイドライン検討委員	長崎地域メディカルコントロール協議会

田崎 修・教授	地方会活性化特別委員会	日本救急医学会
田崎 修・教授	学術集会の在り方検討特別委員会 委員	日本救急医学会
田崎 修・教授	総会・学術集会プログラム企画委員会	日本救急医学会
田崎 修・教授	代表理事	長崎救急医学会
田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会九州地方会
田崎 修・教授	Associate editor	日本救急医学会 Acute Medicine & Surgery
田崎 修・教授	評議員	日本熱傷学会
田崎 修・教授	評議員	日本外傷学会
田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会
田崎 修・教授	評議員	日本臨床救急医学会
田崎 修・教授	編集委員会 委員	日本外傷学会
田崎 修・教授	資格試験作成委員会 委員	日本外傷学会
田崎 修・教授	保健医療対策協議会救急医療対策部会 委員	長崎県
田崎 修・教授	緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員長	長崎県
田崎 修・教授	ドクターヘリ運航調整委員会 委員	長崎県
田崎 修・教授	メディカルコントロール協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	移植医療推進協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	長崎医療圏病院群輪番制審議会委員	長崎市
田崎 修・教授	長崎市地域医療審議会委員	長崎市
山下和範・准教授	多職種連携推進委員会委員長	日本災害医学会
山下和範・准教授	評議員	日本災害医学会
山下和範・准教授	産学連携新技術推進委員会委員	日本災害医学会
山下和範・准教授	学生部会支援委員会学生部会アドバイザー リーボード	日本災害医学会
山下和範・准教授	蘇生医療検討委員会委員	日本蘇生学会
山下和範・准教授	評議員	日本蘇生学会
山下和範・准教授	理事	日本救護救急学会
山下和範・准教授	災害医療検討委員会委員	長崎県
山下和範・准教授	統括DMA T	日本DMA T
山下和範・准教授	災害医療コーディネーター	長崎県
田島吾郎・准教授	スキンバンク委員会 委員	日本熱傷学会
猪熊孝実・助教	評議員	日本Acute Care Surgery学会
猪熊孝実・助教	評議員	日本外傷学会

猪熊孝実・助教	九州支部評議員	日本消化器病学会九州支部
猪熊孝実・助教	評議員	日本腹部救急医学会
猪熊孝実・助教	長崎県ドクターヘリ症例検討部会 委員	長崎県
猪熊孝実・助教	長崎市救急活動事後検証 検証医	長崎市
泉野浩生・助教	学生・研修医部会運用特別委員会委員	日本救急医学会
泉野浩生・助教	重症患者の栄養療法ガイドライン作成委員会委員	日本集中治療医学会
泉野浩生・助教	会則委員会委員	日本Acute Care Surgery学会
泉野浩生・助教	長崎市地域保健医療対策協議会	長崎市保健所

### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研 究 題 目
田崎 修・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「単球・マクロファージおよびミクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析」
田崎 修・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「トランスクリプトーム解析から展開するパターン認識を応用した病態解析法の基盤構築」
田島吾郎・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「トランスクリプトーム解析から展開するパターン認識を応用した病態解析法の基盤構築」
田島吾郎・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「単球・マクロファージおよびミクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析」
青木義紘・助手	Royal Society of Tropical Medicine and Hygiene/Wellcome	代表	Factors associated with delayed hospital visit for snakebite in the Eastern Visayas, the Philippines: Exploring traditional remedies in the communities
青木義紘・助手	公益推進協会	代表	くら基金 若手研究者奨励助成 「発展途上国との医師交換研修・共同症例報告を通じた新たな医療の質改善システムの開発に関する研究」
青木義紘・助手	日本学術振興会	代表	若手研究者海外挑戦プログラム 「フィリピン東ビサヤ地域におけるサマルコブラ咬傷の新規PCR診断法の開発」

### その他

#### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
田崎 修・教授	自信ありますか？12誘導心電図の判読～救急救命士向け心電図判読能力向上トレーニングプログラムの構築～	救急救命 2024年第26巻第2号	2024年2月29日	救急救命士の12誘導心電図の判読能力向上は、適切な病院搬送の一助となる。これにより、救命率の向上や搬送時間の短縮が期待できる。
青木義紘・助手	International Snakebite Awareness Day 2024: Hear from our Early Career Grant awardees	The Society of Tropical Medicine and Hygiene	2024年8月31日	国際蛇咬傷啓発デーにおいて、研究費受賞者を対象としたインタビューを受け、自身の研究内容および蛇咬傷の課題について説明した。

青木義紘・助手	coFFee doctors Hope	coFFee doctors	2024年9月30日	顧みられない熱帯病である蛇咬傷について、フィリピンにおける課題と進行中の研究、およびこれまでの海外支援活動について紹介した。
---------	---------------------	----------------	------------	--